

令和6年度 終業式 校長の話

おはようございます。先ほど表彰された生徒の皆さん、おめでとうございます。

3月14日（金）には第99回卒業証書授与式を行いました。先輩たちが築いてこられた実績を更に継承、発展させ、松山高校のブランド力を高めていただきたいと思います。そして、毎回、お話ししていますが、お互いに高め合う、応援し合うこの松山高校の空気をこれからも大切にしたいと思います。

さて、年が明け、寒い中で始まった後期後半も今日で終了し、明日から4月7日まで長期休業となります。いよいよ令和6年度も最後になりました。終業式に当たり3点お話をします。

一つ目は、授業を大切にすることです。先日会議があり、進級できる生徒とできない生徒が決定しました。中学校まではたとえオール1であったとしても進級や卒業ができたと思いますが、高校は違うという現実があります。高校は授業が第一です。手を抜いてよいという教科・科目はありません。進級できた生徒も油断せず、勉強面で不十分なところがあれば、この休業中にしっかりと復習をしておいてください。

一方で、高校に入学してから、成績が確実に伸びてきている生徒、得意な科目ができた生徒がたくさんいました。やればできるという自信を持つと共に、高校卒業後の自分の進路実現のため、授業を中心に様々な力を身につけてください。

二つ目は、挑戦する気持ちについてです。私は松山高校で間もなく2年を終わろうとしていますが、生徒の皆さんは、挨拶がしっかりとできていて、人の話をよく聞き、素直に先生方の指導を受け入れてくれる真面目な生徒諸君だなと感じています。また、生徒の皆さんからたくさん元気や感動をいただき、心から感謝をしています。

しかし、これらの良い点とは裏腹に、高い目標に挑戦する意欲がまだまだ乏しいように感じています。本校に入学してきたときには、勉強も部活動も頑張ろうと、目的意識をもって入学してきたと思いますが、生徒の皆さん、今年度はどうでしたか？部活動だけに偏っていないか？勉強と部活動の両方に力を入れているか？

パリ五輪に日本柔道の女子最年長 31 歳 11 カ月で初出場し、日本の夏季五輪通算 500 個目となるメダルを今大会「金」第 1 号で彩った角田 夏実選手は「自分 1 人では絶対に勝ちきれなくて、たくさんの人に支えられてここまでやってこられたなと思います」と感謝の思いを口にしていました。

角田選手は、全国区の強豪校ではない国立の東京学芸大から初の五輪代表として出場しました。教員養成系大学で技を磨き、世界一まで上りつめ、「諦めずにここまでやってきて良かった」とかみしめるように話していました。

生徒の皆さんが持っている潜在能力やエネルギーはとても高いものがあります。しかし、これを使わなければ、持っていないことと同じです。ワンランク上に挑戦すること、自分の長所や得意なものを更に伸ばす努力のために、潜在能力、エネルギーを使ってください。

生徒の皆さんには、改めて、本校を選んで、入学してきたときの気持ちを思い出して、自分自身の成長や学校生活を実りあるものにしてほしいと思います。

卒業式にも話しましたが、運動部に入っていない生徒は、ときどき、体を動かすこともとても大切です。

3 つ目は、身の回りの整理・整頓、活動場所の美化についてです。4 月からは「後輩」が入学してきます。「先輩」と呼ばれる、これにふさわしい言動ができる、行動ができるようにしましょう。また、新入部員が来ても恥ずかしくないように、教室、部室や活動場所をきれいにして、新入生を迎える準備をしてください。大谷選手も環境の美化について、「ゴミを拾う」など具体的な行動をされています。全校生徒の皆さんにも、そういう視点を持って、環境美化のための具体的な行動をしていただきたいと思います。身だしなみについても先生から注意される前に、学校の決まりどおりにしっかりとしてください。よろしくお願いします。

さて、最後になりますが、2 年生は、4 月から最終学年を残すのみとなり、卒業後の進路の選択が目の前に迫っています。また、1 年生は、2 年目の大きな飛躍へと準備を進めることとなります。生徒の皆さんには、毎回は話していますが、

「立てるものは歩け、歩けるものは走れ、走れるものは飛べ」です。ワンランク上を目指して、そして様々なことに挑戦する気持ちをもって頑張っ

てください。

それでは、明日から約2週間の長期休業となります。自転車事故や部活動中のけが等にも十分注意してください。生徒の皆さんの今後の更なる飛躍と挑戦を期待しています。